

病院問題について



榎戸和也 議員

問 昨日議員に示された、筑西市との合意内容を再度確認したい。

答 市長公室長 ① 県西総合病院の存続を認める。②新中核病院は筑西市で、県西総合病院は桜川市で整備・運営する。③県西総合病院の医師確保は桜川市が行う。④交付金の13億円は新中核病院にしか使えない。⑤病床数は、県西総合病院から127床を移動して中核病院を300床規模とし、県西総合病院は127床を減じた172床とする。以上です。

問 13億円は、本来この地域の医療再生のための資金であるはずである。筑西市だけが使うのはおかしい。こうなっている理由の1つは県の姿勢にある。県は、両市の県西総合病院をなくすという合意に基づいて長年協議を重ねてきたにもかかわらず、今になって県西総合病院を残したいというのは桜川市のわがままだという認識である。しかし、県が県西総合病院をなくす合意を確認したとする「あり方検討会議(通称)」は、平成21年の7月と8月のわずかに2回しか開かれていない。この重要な会議に出席したのは、桜川市側からは副市長と住民代表2人である。住民代表は誰か。

答 市長公室長 個人名については答えられません。
区政について
問 その後の経緯を見ると、市民代表は当時の区長会代表だと思われる。そして、この会議には議会の代表は出ていない。このように議員数が減る中、区長の役割は大きくなっていく。そこで、区長の身分と区長報酬について伺う。
答 総務部長 区長は非常勤特別職であり、地方公務員と位置づけられています。報酬は年額、全員一律の7万円に加え、担当区戸数×800円です。
問 区の民主的な運営の実現のため、規約のない区に規約等の制定を働きかけるべきと考えるが、どうか。
答 総務部長 新任の区長には「自治活動の手引」を交付し、規約等をつくる場合の一般的な事項を示しています。



相田一良 議員

少子化対策(結婚)について

問 国・県・桜川市でも生涯未婚率が上昇し続けている。そのため、少子高齢化に拍車がかかり、人口減少につながっている。市では未婚者に対する今後の方針と、どのような対策をされているのか伺う。

答 市長公室長 平成20年度から、現在、女性分団を含め37分団の体制になっています。団員数は平成26年2月現在で564名、消防ポンプ車は女性分団を除く36分団全てに配備されています。

いばらき出会いサポートセンターと連携し、独身男女の出会いの場を提供するふれあいパーティーを平成22年度から、年に5回程度開催しています。最近では、市の担当者にも相談の件数も多くなっています。今後も引き続き、結婚の応援にしっかりと取り組んでいきます。

消防分団数の統廃合、出動手当

問 桜川市の消防分団数は、県内他市町と比較して際立って多い。消防ポンプ車同様に多い消防分団を統廃合することによって、ポンプ車の台数削減をどうするか。
答 市民生活部長 現在、女性分団を含め37分団の体制になっています。団員数は平成26年2月現在で564名、消防ポンプ車は女性分団を除く36分団全てに配備されています。



問 消防分団員の出動手当の増額を検討してほしい。
答 市民生活部長 国の調査によると実際の支給額は、全国平均で団員報酬が約2万5000円、出動手当が1回3000円となっています。当市が特に低い水準であるというわけではありませんが、消防地域・防災力の処遇改善については一考の余地があると考えているため、市の財政力を考慮しつつ検討を進めたいと考えています。

防災問題について



川那子秀雄 議員

問 学校関係の災害に対する防災マニュアルについて。
答 教育部長 市内の小中学校において、地震等の災害時や事件、事故等における安全確保のために、危機管理マニュアルを作成し、その内容に基づき避難訓練を実施しており、学期に1回、年3回行っており、PTA及び自主防災組織を中心とした、学校防災連絡会議を設置し訓練等を実施しており、あらゆる状況を勘案し避難訓練や、マニュアル

等の見直しを図り児童生徒の安全確保に努めたい。
問 市民(例えば高齢者等)の防災マニュアルについて。
答 市民生活部長 国が定める災害対策基本法や、上位計画等の改定を受け、平成25年3月に市の大綱となる地域防災計画の改定を行っており、自助、共助、公助の役割を明確にし、分野ごとに災害対策に関する業務の大綱を定められています。土砂災害対策として、土砂災害ハザードマップを作成し、配布いたしました。啓発活動を実施したところですが、今年度は、防災行政無線のデジタル化再整備に着手、防災倉庫の建設、災害備

蓄食料品等の備蓄を進めております。
問 保健福祉部長 地域防災計画の第3配備指令が発動された場合、保健福祉部職員が民生委員や区長と連携し速やかに安否確認及び、避難勧告等の情報伝達を行い、平成24年10月に立ち上げた高齢者見守りネットワーク事業の協力者とも連携を図っています。



防災用備蓄倉庫(岩瀬庁舎)

議会だより編集・議会映像配信を視察・研修

視察日：2月18日(火) 視察場所：常陸太田市議会

常陸太田市議会において、議会だより編集・議会映像配信について研修を行いました。常陸太田市議会では、議会だよりの編集について、親しめる紙面づくりとともに公正かつ客観的な記事の作成を心がけており、住民に関心の高い内容を重点的に取り上げて発行しています。起立採決のあった議案については、議員個人の賛否状況を一覧にして賛成者・反対者の掲載をしていました。また、議会映像配信については情報公開を進め、広く市民サービスの向上を図るために、平成22年3月定例会からライブ中継や録画の本会議インターネット配

信を実施しています。本委員会は、視察研修により知識の見聞を広げるとともに、市民から親しまれる議会だよりを発行できるよう努めていきます。



常陸太田市議会議場